

令和7年度事業報告書

社会福祉法人 春日福社会
春日中央保育園

令和7年度 事業報告書

社会福祉法人 春日福祉会

〔Ⅰ〕 法人本部

(1) 評議員会開催実績

開催年月日	出席評議員数	審議決定した事項
6月21日	5	令和6年度本部会計、施設会計決算及び事業報告 任期満了に伴う法人役員の選任決議 議事録署名人に関する件
3月28日	4	退任等に伴う法人役員の選任決議 議事録署名人に関する件

(1) 理事会開催実績

開催年月日	出席理事数	出席監事数	審議決定した事項
6月6日	6	2	令和6年度監事会計監査に関する件 令和6年度本部会計、施設会計決算及び事業報告、財産目録承認の審議に関する件 理事長からの業務執行状況報告 任期満了に伴う法人役員の選任案の決定 評議員選任案の決定 その他に関する件
6月21日	6	2	理事に於ける理事長選任の件 評議員選任解任委員選任の件 任期満了に伴う苦情第三者委員の選任決議
3月28日	5	2	令和7年度施設拠点区分第一次補正予算案の件 令和8年度施設拠点区分当初予算案の件 福岡県指導監査終了に関する件 理事長からの職務執行状況報告 評議員会に向けた退任等に伴う法人役員の選任案の決定 評議員選任解任委員会に向けた退任等に伴う評議員選任案の決定 その他に関する件

(2) 監事監査実績(令和7年度事業に係る)

- ① 実施年月日 令和8年 6月4日
- ② 出席監事名 白水 和幸 椎葉聖
- ③ 立会役職員名 理事長 庄山 剛
- ④ 監査報告の内容

区分	監査結果	関連意見
理事の業務執行状況	別紙参照	別紙参照
法人の財産の状況		

(3) 指導監査の結果

- ① 実施年月日 令和7年 9月
- ② 監査の主な指導事項及び改善報告内容

項目	指示内容	改善報告内容
法人運営	なし	
施設運営	なし	
財務管理	なし	

〔Ⅱ〕 春日中央保育園

(1) 入所児童の延べ人数

年 齢	0 歳児	1, 2 歳児	3 歳児	4, 5 歳児	合 計	入所割合
4 月	6	57	33	66	162	85.3%
5 月	6	58	33	65	162	85.3%
6 月	8	58	33	65	164	86.3%
7 月	9	58	33	65	165	86.8%
8 月	11	61	33	65	170	89.5%
9 月	12	61	33	65	171	90.0%
10 月	13	61	33	65	172	90.5%
11 月	13	60	33	65	171	90.0%
12 月	14	63	34	65	176	92.6%
1 月	15	63	34	65	177	93.2%
2 月	15	65	34	67	181	95.3%
3 月	15	65	34	67	181	95.3%
合 計 (平均)	137	730	400	785	2052	90.0%

(2) 職員の配置実績

職種	園長	主任	保育士 (派遣含む)	保育 補助者	看護師	栄養士 (調理員)	事務員	合計
4月1日	1	2	27	0	1	4	2	37
10月1日	1	2	27	0	1	4	2	37
3月1日	1	2	27	0	1	4	3	38

(3) 令和7年度の保育の重点方針とその実績

① 年間の保育実績

園の保育理念・保育方針・保育目標を具体化し、0歳から6歳まで一貫したものを保育課程として示している。保育目標を実現するために一人ひとりの子どもが安全に日々を過ごすことができるように各年齢長期間にわたる計画を立てている。また、保育課程に基き保育目標や方針を具体化するものとして指導計画(長期・短期)を作成し、また、3歳未満児に関しては個別な計画を作成し評価と反省を行っている。

② 児童の健康管理に係る実績

児童台帳・健康調査書を整備し、児童の状況を適切に把握している。また、保健計画(別紙)を作成し、一人ひとりの健康保持と増進に努めている。
嘱託医・嘱託歯科医による健康診断をそれぞれ2回実施し、結果は保護者に伝え適正に記録、整備している。尚、当日欠席した子どもは別日に順次対応し完全受診している。ただし、尿検査に関しては検査の特殊性により検査日のみ実施している。

内科検診	4月	10月
歯科検診	4月	10月
尿検査	4月	10月

③ 児童の給食実施・栄養管理に係る実績

未満児の主食は胚芽米を使用、毎週木曜日は全児ごはんの日として、玄米を使った献立を提供している。食材においては、できる限り国産物とし、だしや調味料も厳選された食品を使用している。また、献立は和食中心で発酵食品の納豆や調味料を積極的に取り入れて作成している。
令和8年度より、3・4・5歳児の主食の安全面を考慮し、園で炊飯したものを提供することとした(毎月11

④ 児童の安全対策・災害対策に係る実績

- ①消火器(13か所)、火災通報装置(3か所)設置。
- ②消防署直通「火災通報装置」設置。
- ③火災避難訓練・地震避難訓練・水害・暴風避難訓練・不審者訓練等合計12回実施。また、消防署へ園固定電話、直通電話による通報訓練も2回行っている。
- ④食物アレルギーに関しては医師の指示書に基づき看護師、栄養士との面談を行いアレルギー除去食を決定しその後担任他全職員に伝達し皿の色・柄を変え、間違いのないよう対応している。
- ⑤事故防止委員を看護師・未満児代表・以上児代表・給食職員で構成し、年5回ヒヤリハット事例検討会実施。また、重大事故予防研修・救急救命訓練(AED使用確認)を行い、全職員が一体となり事故に発展する可能性のある問題を把握し、防止に役立てるものとする。

⑤ その他の計画と重点方針に係る実績

保育に関しては春日福祉会の基本理念に基づき当保育園の保育目標に沿って観察・見守り・援助し、常に丁寧な保育に心がけた。又、年4回の地域お誘い行事には例年、市窓口より案内し、保育ガイド、しおり、ホームページ、園だより、保健だより、給食だより等で情報を提供している。
又、児童の発達において気になる事に関しては専門機関と見守り会議を行ったり来園して行動観察後対応についての助言を頂き保育に役立てた。

⑥ 職員会議・給食会議等

職員会議は月に1回実施。自己啓発を中心に各クラスで起こったインシデント・アクシデント事例についての検討会、また、研修報告など全職員が周知、共有すべき議題を討議、給食会議では給食職員、主任保育士、看護師で月1回実施。内容は各クラスや給食室からの問題についての検討会他、アレルギー児食や離乳食の変更などの確認。

(4) 特別保育事業の実績

① 延長保育事業

延長時間	2時間			
登録利用者数 (月単位)	1時間延長	年間延	169名	1月平均 14 名
	2時間延長	年間延	0 名	1月平均 0 名
随時利用者数 (日単位)	1時間延長	年間延	258名	1月平均 21.5 名
	2時間延長	年間延	12 名	1月平均 1 名

② 障害児保育事業

児童発達支援施設へ通所している園児7名、数ヶ月に一度担当者会議を行い、情報の共有をしている。
又、個別の計画を立て評価・反省を行っている。

以上の児童に関しては、個別の計画を立て評価・反省を行っている。

③ その他実施した特別保育事業

なし

(5) 施設及び設備の整備実績

区 分	整 備 の 内 容	経 費
施設整備	なし	
設備整備	なし	

(6) 職員健康管理及び福利厚生事業実績

① 職員健康診断の実施実績

年1回実施

② 職員の福利厚生事業に係る実績

毎月、細菌検査実施

(7) 苦情等解決機関の設置と実績

① 苦情等解決機関の設置

職 務	職名(職業)	氏 名	連 絡 先
苦情解決責任者	園 長	庄山 剛	(春日中央保育園) 092-581-8640
苦情受付担当者	主任保育士	座親 康子	(春日中央保育園) 092-581-8640
第三者委員	評議員	河鍋 辰紀	092-501-4947
	評議員	白水 和幸	090-5730-0807

② 7年度の苦情等の実績

なし

令和7年度事業報告書

社会福祉法人 春日福社会
春日原保育所

令和 8 年 6 月 4 日

公私連携保育法人

所在地 春日市昇町 6 丁目 114 番地

社会福祉法人 春日福祉会

理事長 庄山 剛

保育所名 春日原保育所

保育所所在地 春日市春日原北町 1 丁目 3-2

所長名 岡本 尚子

認可定員 170 名

令和 7 年度 公私連携型保育所春日原保育所業務報告書

公私連携型保育所春日原保育所の設置及び運営に関する協定書第 19 条の規定に基づき、下記の通り事業報告（業務報告）を提出いたします。

記

1. 施設管理

今年度の大規模修繕として外壁塗装工事を行った。安全を確保し、ほぼ予定通りに終了した。保育室の棚取得、テラスの防水工事等、いずれも計画通りの実施ができた。その他、詳細については以下の通りである。

(1) 清掃（日々の清掃において衛生管理に勤める）

- ① 施設内清掃（毎日）
- ② 保育室オゾン消毒（10 日に 1 回程度）給食室オゾン消毒（毎日）
- ③ 害虫駆除(毎週土曜日 16 か所を順に消毒)
- ④ 砂場他園庭除菌（年 1 回）
- ⑤ グリストラップ清掃（年 3 回）

(2) 設備保守点検

- ① 自家用電気工作物点検（毎月）（3 年に一回停電の総合点検 R7 年度実施）
- ② 給食室の食器洗浄機・冷凍冷蔵庫スチームコンベクション等点検
- ③ 小荷物専用昇降機(配膳用)点検（年 5 回程度）
- ④ 消防点検（年 2 回）
- ⑤ 自主安全点検（屋内外）
- ⑥ 備品・固定資産の管理台帳作成確認（年 1 回）
- ⑦ フロンガス定期点検（3 年ごと）（R6 年度エアコン更新のため、実施 9 年度予定）
- ⑧ 空調設備保守点検
- ⑨ AED 設置

(3) 警備 (株)にしけい

<業務内容>

- ① 夜間の見守り・施錠の確認
- ② 各保育室非常ボタン設置 緊急時対応
- ③ 火災警報受信対応

(4) その他の対策

- ① 消火器常備、R8年度交換予定
- ② 消防署直通「火災通報装置」を設置 訓練の際、使用
- ③ 火災避難訓練 (毎月)・地震避難訓練 (年2回)・不審者訓練 (年3回)・水害訓練 (年2回)

(5) 事故・事件

- ① 事故防止委員会を設置し、年間計画を立て職員会議で研修を行った。
- ② 事故・事件が起きた際、また事故の危険性があつた際など職員で情報を共有する。
ヒヤリハットや事故報告書に基づき話し合いを行い、事故防止に努めた。
- ③ 危機管理マニュアルの改善・整備する。

(6) 改修・修繕及び固定資産取得等

- ① 休憩室床改修
- ② ひまわり組収納棚設置
- ③ 2階テラス防水改修工事
- ④ 変圧器中性改修工事
- ⑤ クラス用パソコン購入 (全7台)
- ⑥ 外壁改修工事
- ⑦ 園庭遊具設置 (ベビードラゴン)

2. 運營業務

(1) 運営状況

保育所保育指針・保育所最低基準を遵守し、市との入所調整により公共性・公平性を確保し、保育事業を以下の通りに行った。

① 保育について

- ・保育目標と全体的な計画に沿って、年間・月案・週案をたて、各年齢の保育を行った。
- ・運動会、発表会、遠足などの行事についても計画通り、実施できた。

日々の保育については、暑さで外に出られない期間が長い為、支援ルームや廊下を活用しながら身体を動かすようにした。また、子どもたちが外に出られない時期を室内でも楽しめるよう人形劇や自然教室などを夏場に企画した。

- ・子育て支援センター等諸機関との連携を行い、児童の成長発達を促し、見守る。7年度は児発利用の子どもが増え、様々な事業所利用があつた。コーディネーター会議を行い、専門家よりアドバイスを受けた際は、より良い支援、保育を目指し、職員で情報共有した。また保育所等訪問事業活用についても専門家から学ぶ機会とし、職員の情報共有を行う。

② 保護者支援について

- ・関係専門機関と見守り会議、コーディネーター会議を行った。必要に応じて面談等を行い、子どもの状況を保護者に伝えることで、療育につながることもあつた。
- ・掲示板、アプリ等を活用し、情報交換、伝達を行う。各クラス、写真をアプリにて配信し、保育所での日々の様子を知らせる。

- ・個人面談、保育参観等を実施し、子育ての情報共有を図る。

③ 地域への支援について

- ・行事へのお誘い、園庭開放、実習生の受け入れ、地域子育てサークルのお手伝い、公民館訪問活動、卒園児同窓会を行う。

④ 食物アレルギーについて

- ・入所面接時に看護師・給食担当・主任保育士で聞き取り調査し、対応を行う。その後も半年から一年以内に医療機関で血液検査後、結果の提供依頼をする。また、毎月保護者の献立チェック後、その内容に沿ってアレルギー食の提供を行う。
- ・アレルギー対応の共通理解を深める。

⑤ その他

- ・ハローワーク、福岡県保育士協会、各学校に問い合わせを行い、保育士の確保に尽力する。春日市開催のおしごと就職説明会に参加し、8年度の採用につながった。
- ・アプリについても帳票、研修など活用の幅を広げることで、業務の効率化を図っている。

(2) サービス水準の維持

○特別保育の実施

① 早朝保育…平日・土曜日も午前7時からの保育開始

② 延長保育…午後6時を超えてから午後8時までの保育

(利用料)	月極め利用者	1時間	3,700円
		2時間	7,400円
	単発利用者	1時間	700円/日
		2時間	1,400円/日

③ 乳児保育…生後51日目からの受け入れ保育

④ 障がい児保育…集団生活が可能な程度の障がいがある児童の受け入れ

⑤ 一時預かり保育…パート就労・通院・介護・リフレッシュ等、一時的に児童を保育所で預かる

(3) 職員研修

キャリアパス研修を多数の職員が受講した。その他については福岡県、春日市などが主催の研修に積極的に参加する。オンライン研修が多くなることで、複数の職員が同じ内容を学ぶ機会が増え、職員全体の資質向上につながった。会議の中で、研修報告を行った。

園内研修を行い、保育内容等職員の共通理解を深める。

(4) 利用状況の把握

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合 計	入所割合
4月	5	26	29	28	29	25	142	83.5%
5月	6	27	30	28	29	25	145	85.3%
6月	7	27	30	28	29	25	146	85.9%
7月	7	27	30	28	29	25	146	85.9%
8月	9	27	30	28	30	26	150	88.2%
9月	12	27	30	30	30	26	155	91.2%
10月	14	27	29	30	30	26	156	91.8%
11月	16	28	29	30	30	27	160	94.1%
12月	18	28	30	30	30	27	163	95.9%
1月	19	28	30	30	30	27	164	96.5%

2月	20	28	30	30	31	27	166	97.6%
3月	21	28	30	30	31	27	167	98.2%
合計	154	328	357	350	358	313	1860	91.2%

(5) 延長保育事業

- ① 事業実施時間 18:00~20:00
 ② 実施期間 毎週月曜日から金曜日まで（年末年始除く）
 ③ 年間延べ人数 30分 531名 1時間 2394名 2時間 53名

(6) 一時預かり事業について

無理のない範囲で利用受入れを行った。

一時預かり 単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2,500円 未満児	1	5	8	8	8	9	7	11	7	4	12	10	90
2,000円 以上児	0	5	6	0	0	0	1	6	0	4	0	4	26
合計	1	10	14	8	8	9	8	17	7	8	12	14	116

3. 経理状況

決算報告書（資金収支内訳表・事業活動収支内訳表・貸借対照表等）の帳簿類は適切に管理し、会計報告を行った。

4. 運営体制

(1) 人員の適正な管理

職 種	所 長	主任保育士	保育士	保育補助	看護師	栄養士	事務員	合 計
4/1	1	2	24 (育休1)	2	0 (育休1)	4	2	35 (37)
10/1	1	2	25	2	0 (育休1)	4	2	36 (37)
3/1	1	2	25	2	1	4	2	37

○ 勤務体制

午前7時より、2人体制で対応。午前7時30分～8時30分までは、合計12～16人体制。30分毎に出勤し、午前9時30分には全員出勤完了となる。午後4時から順次退出開始。延長保育は、午後8時までローテーションを行う。児童の状況によって勤務体制を変更して対応する。

○ 令和7年4月1日現在の職員状況

経験年数10年以上の常勤職員20名（事務員及び調理員を含む）。民間給与改善費19%。
 平均勤続年数16年でスタート。

(2) 利用者の苦情・要望等の対応について

- 苦情解決体制を整備し、入所のしおりに記載。入所面談時に口頭で説明を行っている。
 ○ 苦情解決体制の利用はなかった。

- アプリを利用したアンケートを実施し（記名あり）、気になる点は直接保護者と話し、要望等の把握に努めた。

(3) 危機管理体制の確保

- 消防計画書・防火管理者選任届出書を管轄消防署に提出済み。
- 避難訓練(火災・地震・水害・不審者)計画は下記の通り行ったが、全体を通して不審者訓練の想定が難しいと感じた。
- 救急救命、AED 使用について日赤より講師派遣をしてもらい、研修を受講する。
- 年1回、警察の安全対策課より来所してもらい職員への指導を中心に実施するよう予定していたが、派遣中止とのことで、担当が警察に赴き研修を受け、職員に伝える形で行った。
- 避難訓練実施状況は下記の通り。

実 施 月	設 定	内 容
4 月	座学 火災	・ 非常持ち出し袋の確認 ・ 初期消火 ・ 避難訓練
5 月	火災（総合訓練） 不審者	・ 初期消火 ・ 避難訓練（水消火器使用） ・ 通報訓練 ・ 非常ベル使用 ・ 避難訓練
6 月	火災	・ 初期消火 ・ 避難訓練
7 月	水害 火災	・ 水害時の避難場所を話し合う ・ 初期消火 ・ 避難訓練
8 月	地震 火災	・ 地震後避難訓練 ・ 初期消火 ・ 避難訓練
9 月	火災 不審者	・ 非常持ち出し袋の確認 ・ 初期消火 ・ 避難訓練 ・ 避難訓練
10 月	水害 火災（総合訓練）	・ 水害の恐ろしさを知らせ、避難経路の確認 ・ 初期消火 ・ 避難訓練（水消火器使用） ・ 非常ベル使用 ・ 通報訓練
11 月	地震・火災	・ 初期消火 ・ 地震後火災避難訓練 ・ 園外への避難
12 月	火災	・ 初期消火 ・ 避難訓練
1 月	火災 Jアラート	・ 初期消火 ・ 避難訓練 ・ 爆風
2 月	不審者 火災	・ 避難訓練 ・ 初期消火 ・ 避難訓練
3 月	火災 まとめ	・ 初期消火 ・ 避難訓練 ・ 1年間を振り返り、話し合う

- 事故対応について

医療機関受診件数 全 21 件

整形外科	3 件	耳鼻咽喉科	2 件	眼科	3 件	外科	3 件
歯科	8 件	脳神経外科	3 件	外科	3 件	内科	1 件

30 日以上の加療なし

(4) 関係機関・地域との連携体制等

- 気になる児童に関しては、療育訓練施設くれよんクラブ・子育て支援センター・こども未来課などの関係機関と見守り会議やコーディネーター会議等を行いながら連携を図る。
- 気になる児童について、児童発達支援施設、相談事業所とモニタリング会議を行ったり、保育所等訪問事業の受け入れを行ったり、臨床心理士にアドバイスをもらったりすることで子どもたちの発達を支援する体制をとってきた。
- 5歳児が2月に春日原公民館主催の地域の高齢者行事に参加し、交流。歌を披露したり、けん玉、カルタなどの遊びを一緒にしたりして交流する。
- 春日原公民館で行われている地域のサークル活動のお手伝いに保育士を派遣する。サークル参加の児童が入所することもあった。
- 就学前の配慮を要する子どもについて小学校、関係機関と連携を図る。
- 春日原小学校就学前の交流会に担当が参加するなど、小学校との連携を大切にする。

(5) その他

保健衛生管理体制

- | | |
|-------------------------------|---------|
| ○ 乳幼児健康診断（内科検診・歯科検診・尿検査） | 其々年2回実施 |
| ○ 職員健康診断 | 年1回実施 |
| ○ 児童布団を熱風乾燥消毒・丸洗い乾燥消毒（園用布団） | 各年1回実施 |
| 児童布団丸洗い（リース利用） | 月2回 |
| ○ 給食室・保育室・事務所をオゾン消毒 | 週1回以上実施 |
| ○ トイレ・保育室・給食室・テラス・園庭・支援ルーム等清掃 | 毎日実施 |
| ○ おもちゃ・砂場の点検及び洗浄・消毒 | 週1回程度実施 |
| 福岡県・春日市指導監査状況 | |
| ○ 指摘事項なし | |

5. 自主的な取り組み

(1) 食育の取り組み

- トウモロコシの皮むき、玉ネギの皮むきなど、未満児クラスより日常的に行う。
- 給食材料の展示を行い、野菜などの食材を見る、触れる、匂うことで食べ物について知る。
給食、おやつの写真や食材の展示を行う。
- 年長児がお米をとぎ炊飯器で炊く。
- 保育所園庭で菜園を作る。夏野菜、冬野菜などを植え、水やりなどの世話をし、収穫し、食す。
- カレークッキングを行う。パネルシアターなどを使い、栄養について等、給食担当が子どもたちへ話す。材料の買い出しから始め、年長児を中心にカレー作りを行う。
- 以上児を中心に梅干しづくりを行う。
- 年長児はカップケーキ、フルーツヨーグルト、黄粉マカロニづくりなどを行う。
- おにぎりトッピング（数種類のふりかけを子どもたちが選んでおにぎりにつける）を行う。

(2) 文庫活動

- 年10回程度全児童に絵本の貸出を行う。家庭での読み聞かせを呼びかけているが、親子でのかかわりの様子が連絡帳に記入されることも多く、継続したい取り組みである。

(3) お誘い行事のお知らせ

- 春日市子育て支援情報カレンダーで周知

(4)外部講師を招く教室等

○ 自然教室

子どもたちが自然について学ぶ機会として年3回まほろば自然学校より講師を招き、自然教室を行った。子どもたちの興味は様々だが、自然への関心が広がるよう今後も継続予定である。

5月…緑地公園で虫を探す・植物の観察をする（年長）

8月…植物で色水づくり（年中・年少）玉ねぎの皮を使ってハンカチを染める（年長）

11月…春日公園の生き物・植物を観察する

○ 体育教室

月に2回程度、3.4.5歳児の体育教室を実施する。体育教室参観は年2回行った。年長児は親子でドッチボールを行い好評だった。

2、3月には2歳児の体験教室を行う。以上児体育教室を戸外遊びの際、繰り返し見ているためスムーズな参加である。

○ 読み聞かせ会

エルマー語りの会より、クラスごと、年齢ごとに読み聞かせをしてもらう。読み聞かせの絵本は園だよりなどを通じて保護者にも知らせている。

○ 安全教室

交通安全協会講師により5歳児を対象に横断歩道の渡り方など交通安全教室を実施する。

○ 不審者対応訓練

警察署より講師派遣を依頼するが、当保育所職員研修参加後、職員が講師となり実施した。

令和 7 年度事業報告書

- (1) 保育事業報告書
- (2) 資金収支内訳書
- (3) 事業収支内訳書
- (4) 貸借対照表

社会福祉法人春日福祉会

春日白水保育園

令和 7 年 6 月 4 日

公私連携型保育園管理者所在地 春日市昇町 6 丁目 114 番地

公私連携型保育園管理者名 社会福祉法人 春日福祉会
理事長 庄山 剛

保育所名 春日白水保育園

保育所所在地 春日市下白水南 3 丁目 66

園長名 庄山 純子

認可定員 240 人

令和 7 年度春日白水保育園事業報告書

春日市公私連携保育所の設置及び運営に関する協定書 19 条の規定により、下記の通り保育等を報告いたします。

記

1. 運營業務

保育所保育指針・保育所最低基準を遵守し、市との入所調整により公共性・公平性を確保し、保育事業を以下の通りに行う。

(1) 運営状況

①. 財務状況と手元流動性の危機

令和 6 年度末における現金預金残高は約 3,900 万円であったが、令和 7 年度末には約 3,100 万円へと減少しており、1 年間で 800 万円弱の資金減少がみられた。

仮に令和 8 年度も同規模の資金減少が継続した場合、単年度の資金収支が均衡(トントン)であったとしても、手元流動性は約 3 年で底を突く資産になり、極めて深刻な財政状況にある。

②. 収支改善における限界と課題

手元資金の減少を食い止める抜本的な財務対策として、経費の削減または収入の確保が不可欠である。しかしながら、昨今の人件費高騰や物価上昇の影響により、経費削減による収支改善には限界があるのが実情である。

一方の収入面においても、令和 7 年度期首の在園時数は前年度より減少して 156 名となり、さらに令和 8 年度期首は前年比で約 10 名減少した状態でのスタートとなった。

また、現場の状況として、特別なサポートを必要とする児童が増加傾向にある。人員配置基準自体は満たしているものの、基準内の配置だけでは対応が難しく、安全な保育環境の維持には新たな人員の確保(マンパワーの強化)が必要不可欠であり、これ以上の人件費抑制は困難な状況にある。

③. 業務効率化への取り組み(ICT 導入)

こうした厳しい人員環境への対策として、令和 6 年度後半より ICT システムを導入した。登降園管理や保護者へのお知らせの一斉配信が可能となったことでペーパーレス化が進展し、印刷業務等による職員の保育現場からの離籍が減少した。さらに、保育室へパソコンを配備したことで保育士の事務負担軽減につながっており、一定の業務効率化成果を上げている。

④総論：認可保育所として、市町村の入所調整のもとで日々の保育運営に尽力してまいりましたが、地域需要の変化に伴う定員割れの長期化は、中長期的な財務健全性の低下や職員配置への影響など、持続的な運営体制を脅かす懸念材料となっております。

行政監査における口頭助言を踏まえ、現状の定員枠が地域の実態に見合っているかを再評価する局面にきていると思います。今後は、これまでの規模維持にとらわれず、所管行政との情報共有を図りながら、多角的な視点からすすめていけたらと思います。

以上の利用実績、少子化トレンド、および将来需要の予測に基づき、現在の定員設定(240 名)は地域の実需を大きく上回っており、現在の事業規模を維持することは財政的に極めて困難であると判断せざるを得ない。

したがって、実態に即した保育環境の維持と、人員配置の最適化による安定的な施設運営(経営健全化)を図るため、現行の 240 名から実情者数に見合った「170 名」へと園児定員を変更する「定員削減(適正化)」の手続き、および認可条件の検討を速やかに進めていく事が必要。

※在所率表(過去 9 年間)

年 度	在所人員の合計	在所人員の月平均	4 月入園児童数	3 月入園児童数
平成 29 年度	2297 人	79.7%	181 人	201 人
平成 30 年度	2151 人	74.6%	178 人	179 人
令和元年度	2099 人	72.8%	176 人	177 人
令和 2 年度	1951 人	67.7%	154 人	171 人
令和 3 年度	1938 人	67.2%	150 人	171 人
令和 4 年度	1962 人	68.1%	159 人	172 人
令和 5 年度	1926 人	66.8%	157 人	165 人
令和 6 年度	2121 人	73.6%	166 人	179 人
令和 7 年度	1926 人	66.8%	156 人	164 人

○ 令和 8 年度 4 月 1 日付の入園数は 151 名

(2)サービス水準の維持

- 児童登降園管理と一斉配信機能を備えた保護者連絡アプリを導入し、紙媒体の連絡帳からデジタル運用へと移行しました。これにより、保護者への迅速な情報伝達と、職員の事務負担軽減による保育品質の維持・向上を同時に実現に努めています。
- これまで以上児(3 歳～5 歳児)を中心に重点を置いていた発達支援の視点を、未満児(0 歳児～2 歳児)へも早期から広げ、園全体での観察・サポート体制を強化しています。
- 日々の保育の中で早期に課題を把握し、保護者への丁寧な寄り添いを行いながら、地域の児童発達支援事業等の専門機関や福祉サービスへと円滑に繋ぐための連携強化に努めます。
- その他サービス水準の維持について、
 - 早朝・延長保育(7:00～19:00)や生後 51 日目からの乳児保育、一時預かり事業を継続し、保護者の多様な就労・生活ニーズに柔軟に対応している。
 - 障がい児保育をはじめとする専門的な支援体制を維持するとともに、地域における世代間交流や異年齢児交流を積極的に取り入れ、認可保育園としての高いサービス水準と地域福祉の拠点としての機能を堅持しています。

(3) 在籍児童状況

支弁年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合 計	入所割合%
4 月	6	23	29	32	32	34	156	65.0
5 月	6	23	29	32	32	34	156	65.0
6 月	7	22	28	32	32	34	155	64.5
7 月	8	22	28	32	33	34	157	65.4
8 月	9	23	28	32	32	34	158	65.8
9 月	11	24	29	32	32	34	162	67.5
10 月	12	23	29	32	32	34	162	67.5
11 月	12	24	29	32	32	34	163	67.9
12 月	13	24	29	32	32	34	164	68.3
1 月	13	25	29	32	32	34	165	68.7
2 月	13	25	29	32	31	34	164	68.3
3 月	13	25	29	32	31	34	164	68.3
今 計	123	283	345	384	383	408	1,926	66.8

月中の人数は月途中入所者と月途中退所者を含む。240 名×12 ヶ月=2880 名

平均入所割合 66.8%

月平均在籍数 160.5 名

(4) 職員の状況・管理

職 種	園長	副園長	主任	保育士	子育て支援員・就 職前実習	看護師	栄養士	調理員	事務員	合 計
4/1	1	1	1	26		1	2	3	1	36
10/1	1	1	1	26	1	1	2	3	1	37
3/1	1	1	1	26	2	1	2	3	2	38

- 勤務体系 午前 7 時は 2 人体制・午前 7 時 30 分～午前 8 時 30 分までは、計 17～18 人体制、30 分毎に順次出勤。9 時 30 分には全員出勤完了となる。午後 4 時から順次退出開始となり、延長保育は午後 7 時まで対応。(9 時出勤者は午後 6 時 00 分～午後 7 時までは残業で対応、9 時 30 分出勤者は午後 6 時 30 分から午後 7 時まで残業で対応)

- 職員の状況 経験年数 10 年以上の職員は 13 人。平均勤続年数 14 年。加算率 19%(基礎分 12%+賃金改善要件分 7%)

- 健康診断 職員=4 月から順次開始。35 歳以下は春日市内の樋口病院で検診受診。35 歳以上は福岡市中央区の済生会病院で検診受診。

児童=内科検診及び歯科検診と尿検査 (4 月・10 月に実施)

- 細菌検査 職員=給食職員・園長・主任・0 歳児担当職員・保育補助者・事務職員は毎月実施 (O-157 含む) 上記以外の職員は各月に検査実施。

ノロウィルス検査は、給食職員・0 歳児担当職員・主任・保育補助者年 2 回実施 (1 月・2 月)

(5) 年間行事

月	行 事 の 内 容
4 月	歓迎遠足、誕生会、内科・歯科検診・尿検査、体育教室 個人面談(5 歳児)
5 月	保育参観(4 歳児)、誕生会、体育教室
6 月	保育参観(3 歳児)、梅干し作り(5 歳児)、誕生会とお話会、体育教室、個人面談(4 歳児)
7 月	誕生会、体育教室
8 月	誕生会、生活発表会(5 歳児)、体育教室
9 月	保育参観(0 歳児)、誕生会・お話会、世代間交流(敬老の集い)、体育教室、個人面談(1 歳児)
10 月	誕生会、運動会予行練習、内科・歯科検診、尿検査、体育教室、芋ほり
11 月	誕生会・お話会、運動遊び(4・5 歳児)、5 歳児クッキングと買い物体験、体育教室、個人面談(0 歳児)、保育参観(1 歳児)
12 月	個人面談(5 歳児)、保育参加(2 歳児)、クッキング(5 歳児)買い物体験、誕生会、体育教室
1 月	個人面談 (2 歳児)、誕生会とお話会、保育参観(5 歳児)、伝承遊び会(3・4 歳児)、体育教室
2 月	誕生会、体育教室、お別れ遠(5 歳児)
3 月	誕生会、卒園式(5 歳児と保護者)、体育教室、修了式

※発育測定は毎月行っている。

●防災訓練

- ・初期消火・火災訓練・・・4 月(座学・火災発見初期動作練習)・5 月・6 月・7 月・8 月・9 月・10 月・11 月・12 月・1 月・2 月・3 月
- ・地震訓練・・・8 月・1 月
- ・水害訓練・・・7 月・8 月
- ・通報訓練・・・7 月・11 月
- ・不審者訓練・・・5 月・9 月・11 月

※消防計画を管轄の消防署に提出している。

●防災に関する施設整備状況

- ・消防用設備点検（専門業者）：令和 7 年 9 月 18 日・令和 8 年 3 月 5 日
- ・安全点検は毎日行うものと、毎月行うものとに区別して実施。
- ・火災発生通報専用電話機設置及び警察直通非常ボタン設置（一階もも組）
- ・防犯カメラ設置（施設内・園庭・駐車場計 12 ヶ所）

(6) 特別保育事業(延長保育)

- ・事業実施時間 18 時～19 時
- ・平均利用人数 30 分以内 2.0 人 31 分以上 4.8 人
- ・年間延べ人数 30 分以内 402 人 31 分以上 1154 人

※30 分以内は 6:15～6:30 までの人数

(7) 一時預かり事業の状況

一時預かり単位	6月	7月	8月	9月	計
未 満 児	1名	1名	4名	8名	15名
以 上 児	0名	0名	0名	0名	0名
合 計	1名	1名	4名	8名	15名

(8) 関係機関・地域との連携体制

- ・ 気になる児童について、子ども未来課・子育て支援センターと連携し、見守り会議・コーディネーター会議で情報の共有化を図りながら、合わせて児童発達支援事業所と新たに情報共有のためモニタリング(保護者・保育園・児童発達事業所)を行ってきた。
- ・ 就学前の配慮を要する児童について、小学校と情報の引継ぎを行う。

(9) 職員研修・会議の状況

- 各種外部研修やリモート研修で受講。回数 5回、 述べ参加人数 176名

主な研修名： ・ 春日市重大事故防止研修（年3回）。

- ・ 救命救急講習。(AED・エピペン含む)
- ・ 春日市子ども発達支援室・特別支援教育、保育研修（8回）
- ・ 福岡県保育士等キャリアアップ研修（食育・アレルギー対応、障がい児保育、マネジメント、幼児教育、乳児保育）
- ・ 給食研修
- ・ 春日市保育所等職員全体研修（4回）
- ・ 調理師研修
- ・ 園長・主任等対象研修
- ・ リスクマネジメント研究会及び研修会
- ・ 幼保小連携・接続研修
- ・ 福岡地方事業研修

- 園内勉強会

主な内容：ヒヤリハット・保育の質・アレルギー症状・食事・遊び・わらべ歌・進級に向けた気になる子どもの研修・能動的な聞き方

- 職員会議と給食会議 毎月1回実施（ミーティング（昼礼）月～金曜日必要に応じて実施）

(10) 修繕・備品整備状況

①修繕関係・備品設備関係

- ・ 玄関エントランス 2F 外壁修復
- ・ パソコンの購入
- ・ 簡単テント 2基購入(日差し除け)。
- ・ 貯水槽のポンプ交換と防水工事(外面塗装)

②設備関係点検

- ・ グリストラップ（毎月点検）
- ・ 貯水槽清掃及び貯水槽水質検査（年1回）
- ・ 自動ドア（年に4回点検）
- ・ 園庭整備及び管理

- ・ エレベーター （毎月点検）
- ・ 電気設備点検 （年に 6 回）
- ・ 害虫駆除機 （年に 2 回）
- ・ ホシザキ調理関係器具 （年に 2 回）
- ・ 空調機関係 （年に 5 回）
- ・ 防犯無線 （年に 11 回）
- ・ 水槽 （毎月点検）
- ・ 軽自動車ダイハツ （年に 2 回）
- ・ LP ガス （2 年毎に行う点検と 4 年毎に行う点検）
- ・ その他 （コピー機、輪転機など適時点検）

2. 経理状況

(1) 運営(経理)状況

決算報告(資金収支内訳表・事業活動収支内訳表・貸借対照表等)の書類は適切に管理し、会計報告を行う。

3. 利用者の苦情・要望等の対応体制

- ①苦情解決体制を整えて、入園のしおりに掲載。入園説明時にしおりに沿って説明を行い、園舎内にも掲示。
- ②当事業所の第三者委員や県運営適正委員会の利用なし。

4. 事故対応等の回数

整形・形成等外科（6 件）、皮膚科（3 件）、脳神経科（2 件）、歯科（6 件）、眼科（13 件）

- ・ 30 日以上に加療はなし。

6. その他

(1)福岡県・春日市指導監査状況

文書指摘事項等なし

※口頭助言：「これから先の経営安定化の為に、定員変更等を含めて早めの対策が必要になってくるでしょう。」と言われました。

7. 自主的な取り組み

（食育について、主に以上児クラスが主体となって活動）

- ・ 給食食材の玉ねぎやトウモロコシの皮むき・グリーンピースをさやから出す等のお手伝い体験。
- ・ 以上児を中心にクラスごとの畑に、玉ねぎ、夏野菜やサツマイモの苗を育て、収穫した野菜の匂いや感触を体験。
- ・ 5 歳児が梅干しづくり体験する。梅の実を洗う・乾かす・容器の中に梅と塩を交互に入れていくのを見学する。
- ・ 梅酢が出てきたころに紫蘇もみと天日干しを体験。
- ・ エルマー語りの会。